

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 440 事業名 わかやま企業ウォッチング事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		商工費	
	目		労働福祉費	
	大事業		労働福祉事業	
事項		若年者就職支援事業		

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	1	地域産業の振興
施策	5	雇用の安定と労働環境の向上
取組	1	就業機会の拡充と就業支援の充実

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	産業企画課	溝本 功(435-1040)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か	事業内容				
	学生の地元企業への理解を深め、和歌山市での就職意識を高めることで、若者の定住促進を図り、地元産業の活性化及び市勢発展に寄与する。	学生の就職活動の参考となるよう、和歌山市の企業の魅力を紹介する企業見学会を実施する。  ○募集方法 市報、リビング和歌山に掲載 近畿内の大学、短大、専門学校約140校へ案内 支所・連絡所、文化会館、コミセン、市民・県立図書館等にポスター掲示 ○申込方法 電話、ハガキ、Eメール ○選定方法 先着順 ○内容 会社見学、業界の説明 施設見学 進学体験				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		学生の進路(就職)決定の参考になるよう地元企業の魅力を紹介する見学会を開催。	学生の進路(就職)決定の参考になるよう地元企業の魅力を紹介する見学会を開催。	学生の進路(就職)決定の参考になるよう地元企業の魅力を紹介する見学会を開催。	学生の進路(就職)決定の参考になるよう地元企業の魅力を紹介する見学会を開催。 平成24年度からは高校生の企業ウォッチングも実施。	学生の進路(就職)決定の参考になるよう地元企業の魅力を紹介する見学会を開催。
		○H22.2.18(参加者43人) 企業:住友金属(株) きのくに信用金庫 わかやま農業協同組合	○H22.10.20(参加者20人) 企業:キクロン(株) ダイワロイネットホテル 三菱電機(株)	○H23.11.10(参加者27人) 企業:(株)サイバーリンクス (株)紀陽銀行 荊盛堂薬品(株)	○H23.11.17(参加者19人) 企業:きのくに信用金庫 紀州技研工業(株) キクロン(株)	
		○H22.2.19(参加者39人) 企業:(株)サイバーリンクス (株)松原 花王(株)	○H22.10.27(参加者31人) 企業:花王(株) きのくに信用金庫 (株)テレビ和歌山			

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	136	135	135	132	157	148	371			371	
	伸び率 (%)	-	-	-0.7%		16.3%		136.3%			0.0%	
	人件費	常勤職員	4,286	1,710	1,710	1,663	1,663	1,884	1,884			1,884
		非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0			0
		小計	4,286	1,710	1,710	1,663	1,663	1,884	1,884			1,884
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
その他												
一般財源(税等)	136	135	135	132	157	148	371			371		
所要人数	常勤職員	0.56	0.22	0.22	0.22	0.22	0.24	0.24			0.24	
	非常勤職員											

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	企業ウォッチングに応募した人の数					年度目標値	100	100	100	100	100
						実績値	85	53	47		
	単位	人	全体目標値	100	全体目標達成度	47.0%	年度別達成度	85.0%	53.0%	47.0%	
						年度目標値					
						実績値					
成果指標	企業ウォッチングに参加した人の満足度					年度目標値	100	100	100	100	100
						実績値	91.2	94.1	92		
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	92.0%	年度別達成度	91.2%	94.1%	92.0%	
						年度目標値					
						実績値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価(所属長記載)  <b>A</b>
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	参加者数の増加を図るためにこれまで以上の周知を行うことは必要であるが、参加者から90%以上の満足度が得られており、引き続き事業を継続することが望ましい。また、平成24年度からは高校生を対象とした企業ウォッチングも実施する。
「見直し」 「改善」案  ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	